

取扱説明書

改訂版①

インバーター発電機

DLG4000iSR

燃料

ガソリン
LPガス



エンジンオイルは
入っていません。

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方
ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、
内容を理解してからお使いください。



このQRコードを
読み取ることで、
運転操作の仕方などを
動画でご覧いただけます。



目次

はじめに	3	運転前の点検 (LP ガスの場合)	15
安全上のご注意	3	LP ガスの接続	15
製品を長くご愛顧いただくために	3	バッテリーの取付け・点検	16
安全にお使いいただくために	4	エンジンオイルの点検	16
インバーター発電機に係る安全事項	4	運転操作の仕方	17
主要諸元	7	エンジンのかけ方	17
梱包部品一覧	8	エンジンの止め方	19
各部の名称	9	交流電流の取出し方	19
各部の名称と機能 (コントロールパネル)	10	バッテリーチャージャーの使い方	20
① エンジンスイッチ	10	点検・整備の仕方	22
② バッテリーチャージャープラグレセプタクル	10	運転前の点検	22
③ 直流プロテクタ	10	定期点検・運転	22
④ USB ポート	10	エアクリーナーの清掃	22
⑤ エコノミー制御スイッチ	11	点火プラグの点検・清掃	23
⑥ スタートインジケータ	11	エンジンオイルの交換	24
⑦ LP ガスホース接続ポート	11	燃料の抜き方	25
⑧ 燃料切替スイッチ	11	マフラーワイヤネットの清掃	26
⑨ 30A 交流プロテクタ	11	リモコンの電池交換	27
⑩ 15A 交流プロテクタ	11	長期間使用しない時	28
⑪ 出力準備完了ランプ	11	バッテリーについて	28
⑫ 過負荷警告ランプ	11	故障かな?と思ったら	29
⑬ オイル警告ランプ	11	故障かな?と思ったら (点火プラグの点検)	30
⑭ 50Hz/60Hz 切替スイッチ	11	消耗品一覧	32
⑮ アース端子	11	FAX 見積もり・注文用紙	33
各部の名称と機能 (コントロールパネル/その他)	12	保証内容について	34
⑯ 100 V30A コンセント	12	お客様ご相談窓口	35
⑰ 100 V15A コンセント	12		
キャリアハンドル	12		
伸縮キャリアハンドル	12		
運転前の点検 (ガソリンの場合)	13		
燃料の点検・補充	13		
バッテリーの取付け・点検	13		
エンジンオイルの点検	14		

はじめに

このたびはインバーター発電機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

**誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。**

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

インバーター発電機に係る安全事項



警告



禁止

- ・燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- ・燃料の漏れが見受けられたら、使用しないでください。
- ・エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- ・排ガスがこもる場所では使用しないでください。排気ガス中毒になる危険があります。
- ・本機の周囲を囲ったり、箱等をかぶせて使用しないでください。
- ・雨や雪がかかる所でエンジンをかけないでください。
- ・車載したまま使用しないでください。
- ・自動車の車内やトランクに本機を載せたまま車両を放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・濡れた手で本機を操作しないでください。感電の恐れがあります。
- ・コンセントに針金やピンなどの金属を挿込まないでください。感電の恐れがあります。
- ・エンジン始動前に電気機器を接続しないでください。感電の恐れがあります。
- ・電力会社からの電気配線には絶対に接続しないでください。本機や本機に接続された電気機器が故障したり、火災や人身事故の原因となります。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- ・運転中は点検整備を行わないでください。感電の恐れがあります。
- ・運転中は移動させないでください。



指示

- ・自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜いてください。振動等により燃料が漏れることがあります。また、ロープ等でしっかり固定してください。
- ・給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- ・給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- ・燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- ・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- ・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- ・燃料タンクキャップは確実に閉めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- ・運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- ・点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- ・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
- ・エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
- ・点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部の温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
- ・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。
- ・運転前点検を実施してください。
- ・労働安全衛生規則、消防法、電気事業法に従ってください。
- ・発電機のエンジンノイズ（原動機雑音）の影響を受けない距離を確保してください。
- ・ご使用時は、本機を建物や他の機器から少なくとも1m (3ft) 離れた所でお使いください。

安全にお使いいただくために

インバーター発電機に係る安全事項



注意



禁止

- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- ・エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。



指示

- ・燃料はレギュラーガソリン又はLPガスを使用してください。
- ・水平で安定した場所に設置してください。
- ・適切な時期に休憩をとってください。
- ・本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- ・持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。
- ・シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。
- ・定期点検整備を行ってください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・部品交換は、純正部品を使用してください。
- ・本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。
- ・定期点検整備を行ってください。
- ・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

安全ラベル



警告

- 給油の前に発電機の電源を切ってください。
- 燃料が漏れていないか確認してください。
- 直火の近くで運転しないでください。
- 屋内では使用しないでください。

使用燃料 無鉛レギュラーガソリン

警告

- 燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- 燃料の漏れが見受けられたら、使用しないでください。
- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- 給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。

注意

- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。
- 給油中は、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- 30日以上長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。



警告

一酸化炭素は目に見えない、臭いもしない毒です。発電機の排気ガスには一酸化炭素が含まれているため、屋内で使用すると数分で死に至ります。使用前に取扱説明書をお読みください。

ドアや窓が開いていても、家やガレージの中では絶対に使用しないでください。

窓やドア、通風口から離れた場所で使用してください。

警告

- 湿気、雨、雪にさらさないでください。濡れた手や足で操作しないでください。感電する恐れがあります。
- 適切に接地(アース)されていない発電機は、感電の原因となることがあります。
- 火災の恐れがありますので、運転中は燃料を補給しないでください。
- 取扱説明書の指示に従わないと、死亡したり、重傷を負ったりします。
- 排気には有毒な一酸化炭素ガスが含まれており、意識喪失や死に至ることがあります。風通しのよい屋外で作業をしてください。
- 雨の降る場所や湿気が多い場所では使用しないでください。
- 感電や火災の恐れがあるので、電力会社からの電気配線には絶対に接続しないでください。

主要諸元

モデル名	DLG4000iSR
発電形式	多極回転界磁形
相数	単相
電力変換方式	インバーター
周波数	50Hz/60Hz (切替式)
ガソリン定格出力	3500VA (瞬間最大 4000VA)
LP ガス定格出力	3200VA (瞬間最大 3600VA)
定格交流電圧	100V
定格交流電流	ガソリン 35A LP ガス 32A
定格直流電圧	12V
定格直流電流	8.0A
USB 定格直流電圧	5V
USB 定格直流電流	1.0A 2.1A
ガソリン連続運転時間1/4 負荷～定格負荷)	約 14 時間～約 4.5 時間 (※ 1)
LP ガス連続運転時間 (※ 2)	約 25 時間 (※ 1)
騒音レベル	62dB (7m 1/2 負荷)
エンジン	4 ストローク 単気筒 OHV
排気量	224cm ³
点火方式	T.C.I
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	12L
エンジンオイル	SAE 10W-30
エンジンオイル容量	600ml
重量	48kg
サイズ (幅×奥行×高さ)	625x460x520mm

※ 1 連続運転時間は目安となります。使用時間を保証するものではありません。

※ 2 LP ガス 10kg を 800W で使用した場合。

※ハイガーは、顧客満足度 100%を目指し、日々製品 (部品やカラーも含め) の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
不足している場合は、お手数ですがハイガーまでご連絡ください。



警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p> 	<p>B. LP ガスホース</p> 	<p>C. 圧力調整器</p> 	
<p>F. 周波数切替キー</p> 	<p>G. プラグレンチ</p> 	<p>H. オイル給油漏斗★</p> 	<p>I. バッテリー</p>  <p>※本体に取付け済みの場合があります。</p>
<p>J. スパナ★</p> 	<p>K. リモコン</p> 	<p>L. 圧力調整器固定台</p> 	<p>M. 固定台ネジ x 2 個</p> 

★印はサービス品です。予告なく同梱終了になる場合があります。ご了承ください。

※製造時期により部品の形状、内容物に変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。

各部の名称



各部の名称と機能（コントロールパネル）



① エンジンスイッチ

スイッチを「ON」側に押すと緑のランプが点灯します。更に押込むことでセルモーターが回転し、エンジンが始動します。

「OFF」側に押すとエンジンが停止します。

● ONにしてもランプが点灯しない場合は、バッテリーの消耗が考えられます。

● ONにしランプが点灯していてもセルモーターが回転しない場合は、バッテリーの消耗が考えられます。



② バッテリーチャージャープラグレセプタクル

12V DC 8A のプラグレセタクル。付属のバッテリーチャージャーのプラグを挿入します。(P.20 参照)

③ 直流プロテクタ

バッテリーに異常があったり、使用範囲を超えて使用した場合、OFF（ボタンが飛び出す）になり回路を遮断し本機を保護する役目があります。復帰するには原因を取除き、ON（ボタンを押込む）にします。

※エンジンは止まりません。



④ USB ポート

1A/2.1A 定格の 5V DC USB ポート。5V DC USB デバイスまたは延長コードを接続するには、標準タイプ「A」USB オス型プラグを取付ける必要があります。



各部の名称と機能（コントロールパネル）

⑤ エコノミー制御スイッチ

コンピュータや電灯などの小さな抵抗負荷に給電する場合は、スイッチを「ON」にすることで自動的にエンジン回転数を最小限に抑え、燃費と騒音を低減します。

電動ポンプなどの大きな抵抗負荷に給電する場合は、「OFF」にすることでエンジン回転数を高めます。直流使用時は「OFF」にします。

- ON：エンジン回転数が無負荷の状態ですべて約 1/4 に落ちます。長時間使用に適しています。燃費が良い。
- OFF：エンジン回転数が無負荷の状態ですべて約 1/2 になります。初期電力の大きい機器に適します。

⑥ スタートインジケータ

電源が入っていることを示します。本機の電源が入っている間、LED は点灯したままです。

⑦ LP ガスホース接続ポート

付属の圧力調整器付 LP ガスホースを接続します。



⑧ 燃料切替スイッチ

燃料をガソリン又はプロパンに切替えます。
※運転中は燃料の切替はできません。

⑨ 30A 交流プロテクタ

サーキット・プロテクタは、100V のコンセントから供給できる電流を 30A に制限します。

30A を超えるとボタンが飛び出します。

復帰は、過負荷の原因を取除きボタンを押込みます。

⑩ 15A 交流プロテクタ

サーキット・プロテクタは、100V のコンセントから供給できる電流を 15A に制限します。

15A を超えるとボタンが飛び出します。

復帰は、過負荷の原因を取除きボタンを押込みます。

⑪ 出力準備完了ランプ

インバータが使用可能であることを示します。

⑫ 過負荷警告ランプ

インバータに過負荷がかかると警告ランプが点灯します。

⑬ オイル警告ランプ

エンジンオイルが指定量を下回ると警告ランプが点灯し、エンジンが停止します。オイルを補充しない限りエンジンは始動しません。

⑭ 50Hz/60Hz 切替スイッチ

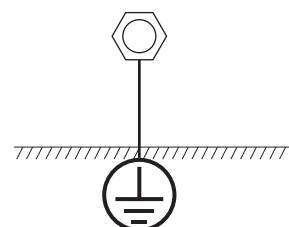
周波数の切替え（50Hz ⇄ 60Hz）を行うスイッチです。付属の専用のキーを挿して切替えます。切替はエンジン停止中に行ってください。



⑮ アース端子

感電防止のアース線を取付ける端子です。電気機器を大地にアースした場合は、本機も必ず接地（アース）してください。

※アース工事には電気工事士の資格が必要です。



各部の名称と機能（コントロールパネル / その他）

⑩ 100 V30A コンセント

交流（AC）の単相 100 V/30A を取出すことができます。（参考プラグ：パナソニック WF8330、明工社 MH2578）



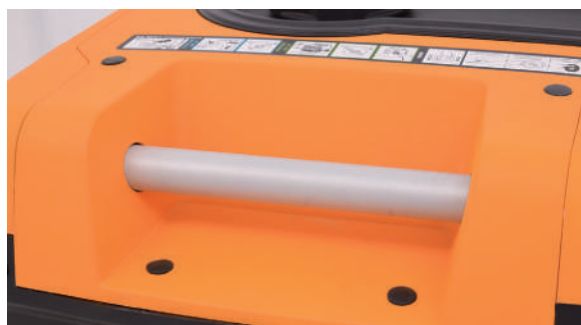
⑪ 100 V15A コンセント

2口の合計で交流（AC）の単相 100 V/15A を取出すことができます。



キャリーハンドル

持ち上げる時は、前後のキャリーハンドルを持ちます。



伸縮キャリーハンドル

平坦な場所を移動する時は、前部の伸縮キャリーハンドルを使用します。

- 1 ボタンを押すとキャリーハンドルが少し飛び出します。



- 2 キャリーハンドルをロックするまで引き出します。



⚠ 注意

- ・段差を乗り越えないでください。
- ・本機を立てかけないでください。

運転前の点検（ガソリンの場合）

警告



- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

注意



- ・燃料キャップは確実に閉めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

燃料の点検・補充

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン (レギュラーガソリン)
タンク容量	12L

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。
出荷時は入っていません。

点検手順

- 1 燃料タンクキャップを取外し、液面を見て残量を確認します。



- 2 少ない時は補給します。

給油方法

- 1 無鉛レギュラーガソリンを少しずつこぼさないように給油します。上限（赤い目印）を超えないように給油してください。



- 2 給油が終わったら、燃料キャップが「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。

バッテリーの取付け・点検

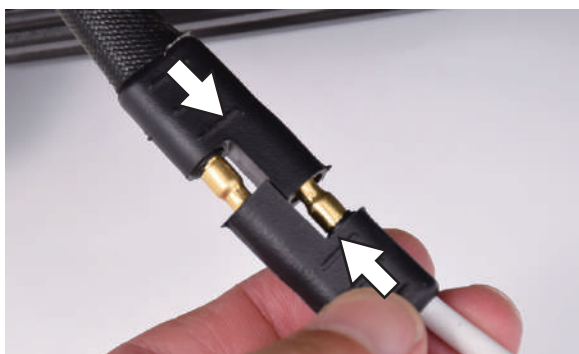
バッテリーは、取付け済みですが、

- 1 リヤカバー内にバッテリーを入れ、ゴムバンドで固定します。



運転前の点検（ガソリンの場合）

- 2** コネクタをしっかり接続します。



エンジンオイルの点検

エンジンオイルは出荷時には入っていません。

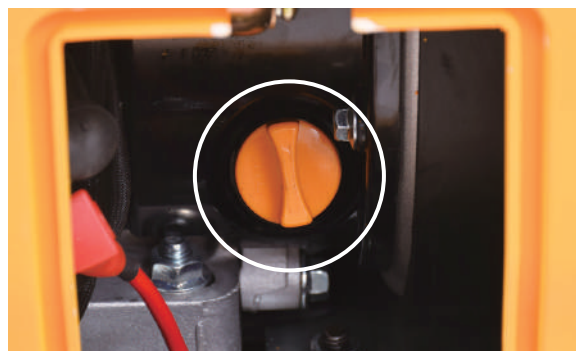
必ず給油してください。また、工場ですり運転をしているため、若干オイルが内部に残っている場合がありますので、給油の際は、こまめにオイルゲージで確認しながら給油してください。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	600ml

- 1** 本体を水平な場所に移動させます。
- 2** カバーのツマミを押し下げながら手前に引出し、取外します。



- 3** オイル給油キャップを取外し、オイルゲージに付着したオイルを布などで拭取ります。



- 4** オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度外します。
- 5** オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



- 6** オイル量が少ない時は、新しいオイルを補給します。



⚠ 注意

- エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。エンジン不調になる恐れがあります。
- こぼれたエンジンオイルは必ず拭取ってください。

運転前の点検（LP ガスの場合）

警告



- LP ガスが漏れたままエンジンをかけないでください。
- 運転時に喫煙など火気を発生させないでください。



- LP ガスは引火しやすく爆発性がありますので、取扱いには十分注意してください。
- LP ガスタンク及びLP ガスホースの取付け、取外しはエンジンを停止した状態で、換気の良い場所で行ってください。
- エンジン始動前には、ガス漏れが無いことを確認してください。（ガス臭やシュー音）

注意



- 発電機で使用する LP ガスの圧力設定は、家庭用の圧力調整器の設定圧力とは異なります。必ず付属の圧力調整器付 LP ガスホースを使用してください。
- LP ガスホースの接続は確実に行ってください。
- LP ガス及び LP ガス容器の取扱は、法律や規制があります。詳しくは最寄りのガス販売店にご相談ください。
- LP ガス容器の接続は、有資格者が行う必要がある場合があります。詳しくは最寄りのガス販売店にご相談ください。

LP ガスの接続

使用燃料

成分の 95%以上がプロパンガスである
LP ガス

- 1 付属の圧力調整器、圧力調整器アタッチメント、LP ガスホースを下記のように接続します。



- 2 付属の圧力調整器の穴に固定台を付けて、付属のネジで固定します。

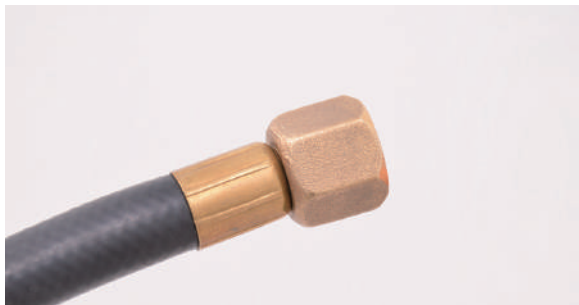


- 3 LP ガス容器のバルブに付属の圧力調整器付 LP ガスホースを接続します。



運転前の点検（LP ガスの場合）

- 4** コントロールパネルの LP ガスホース接続ポートのキャップを開け、圧力調整器付 LP ガスホースを取付けます。



- 5** LP ガス容器のバルブを開け、ガス漏れがないか確認します。



警告

万が一ガス漏れが確認できた場合、その原因が解決するまで本機を使用しないでください。

バッテリーの取付け・点検

P.13 参照

エンジンオイルの点検

P.14 参照

運転操作の仕方

警告



禁止

- ・ガソリンを補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・LP ガスが漏れたままエンジンをかけないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので高温部に触れないでください。
- ・エンジンを始動する前に、電気機器を接続しないでください。



指示

- ・本機はしっかりとした硬い地面で水平な場所に設置してください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

エンジンをかける前に、バッテリーのコネクタが接続されていることを確認します。

コネクタが外れていたり、バッテリーが消耗しているとセルスターターはもちろんリコイルスターターでもエンジンはかかりません。



●ガソリンの場合

出荷時には燃料、エンジンオイルは入っていません。給油後に操作をしてください。

- 1 コントロールパネルの燃料切替スイッチを「GAS」側にします。



●LP ガスの場合

エンジン始動前には、ガス漏れが無いことを確認してください。

- 1 LP ガスタンクバルブに付属の圧力調整器付 LP ガスホースを確実に接続します。



- 2 燃料切替スイッチを「PROPANE」側に回します。



- 3 LP ガス容器のバルブを開きます。

運転操作の仕方

●ガソリン・LP ガス共通

■セルスターターの場合

- 1 コントロールパネルのエンジンスイッチを「ON」側に押し込みます。この時、緑のランプが点灯していることを確認します。
- 2 「ON」の位置から更に押し込むことでエンジンが始動します。指を放すと「ON」の位置に戻ります。



⚠注意

セルモーターを連続して5秒以上回転させないでください。バッテリー上がりの原因となります。

👉セルスターターが回らない。

- エンジンスイッチを「ON」にし、緑のランプが点灯していてもセルスターターが回らない場合は、バッテリーの充電不足です。リコイルスターターで始動してください。
- 「ON」にし、緑のランプが点灯しない場合は、バッテリー残量が無くなっています。充電するか交換するまで使用できません。

■リコイルスターターの場合

- 1 リコイルスターターを引きます。
※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。

⚠注意

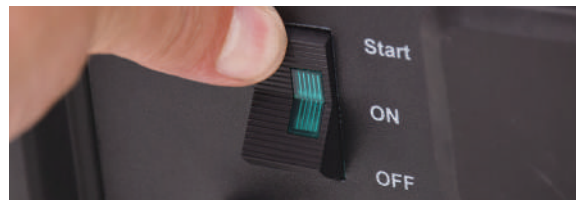
- ・ロープは一杯に引ききらないでください。
- ・引いたリコイルスターターを途中で放さないで、ゆっくり戻してください。



- 2 エンジンを始動後暖気運転を行い、運転状況を確認します。

■リモコンの場合

- 1 コントロールパネルのエンジンスイッチを「ON」側に押し込みます。この時、緑のランプが点灯していることを確認します。



- 2 リモコンを本体に向けて、「ON」を押します。



⚠注意

リモコンの受信距離は約40m程度です。それ以上離れた所から、使用しないでください。

👉交流電源の使用範囲の目安

テレビ・ラジオ・電熱器類	ガソリン	3.5kVA まで (力率 1)
	LP ガス	3.2kVA まで (力率 1)
電動工具類	ガソリン	2.8kVA まで (力率 0.8 ~ 0.9)
	LP ガス	2.56kVA まで (力率 0.8 ~ 0.9)
モーター類※	ガソリン	1.4kVA まで (力率 0.4 ~ 0.8)
	LP ガス	1.28kVA まで (力率 0.4 ~ 0.8)

※起動電流が大きいと使用範囲内であっても使用することができない場合があります。

【注意】使用範囲は目安としてお考えください。上記のように力率は使用する電気機器が同じであっても一定ではありません。また力率は必ずしも上記の範囲内である訳でもありません。使用範囲ギリギリのご使用ではなく電力に余裕を持たせるようにしましょう。

運転操作の仕方

エンジンの止め方

- 1 リモコンの「OFF」ボタンを押すかまたは、コントロールパネルのエンジンスイッチを「OFF」側に押しします。使用しない時は「OFF」のままにしてください。

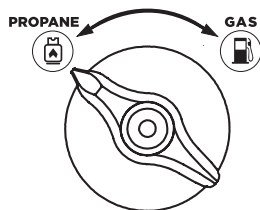


⚠️ 注意

リモコンを「OFF」にしても、コントロールパネルのエンジンスイッチは、「OFF」の位置にはなりません。

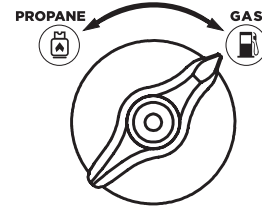
👉 ガソリンの場合

- 2 エンジン停止後、燃料切替スイッチを「PROPANE」側に回してください。

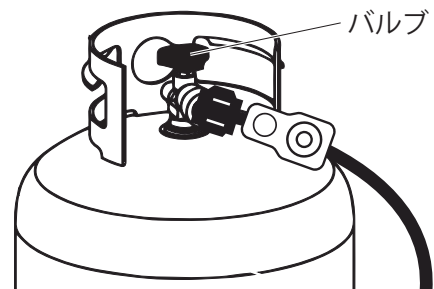


👉 LP ガスの場合

- 2 LP ガスはエンジン停止後、必ず燃料切り替えスイッチを「GAS」側に回してください。



- 3 LP ガス容器のバルブを閉めてください。



- 4 本機のコントロールパネルの LP ガス接続ポートから圧力調整器付 LP ガスホースを取外してください。



交流電流の取出し方

⚠️ 注意

本機は、接続された電気機器の負荷の変化に合わせて電圧が変化しますので、電圧変化に敏感な電気機器は使用しないでください。

- 1 エンジンを始動します。
- 2 スタートインジケータの LED ランプが点灯していることを確認します。

運転操作の仕方

3 電気機器の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。

4 電気機器の電源プラグを交流コンセント⑯又は⑰に挿入します。



交流コンセント⑯には単相 100V で合計消費電流 30A 以下の電気機器の電源プラグを挿入します。交流コンセント⑰には単相 100V で合計消費電流 15A 以下の電気機器の電源プラグを挿入します。

5 電気機器のスイッチを入れます。

6 出力準備完了ランプが点灯すれば正常です。



⚠️ 注意

負荷運転や電気機器が異常を起こした場合は、過負荷警告ランプが点灯し、電気が取らせなくなります。

この時エンジンはかかったままなので、エンジンスイッチを「OFF」にし、エンジンを停止してください。



バッテリーチャージャーの使い方

外部のバッテリーを充電することができます。



⚠️ 注意

- ・ゲルパックバッテリー、密閉電池、小型電池での使用はおすすめしません。
- ・この充電システムは、弱いバッテリーを充電するためのものであり、車両を「ブーストスタート」のためのものではありません。
- ・充電中はバッテリーを過充電したり、放置したりしないでください。

■ 充電方法

1 バッテリーに接続されているすべてのコードを取外します。(バッテリーの説明書に従って充電してください。)

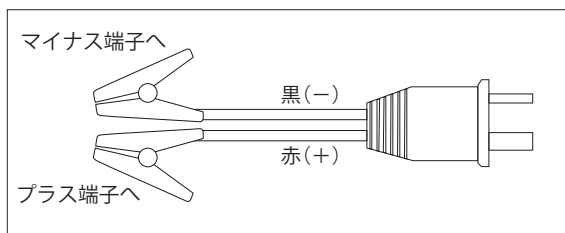
2 ケーブルのもう一方のプラグを、コントロールパネルのバッテリーチャージャープラグレセプタクルに接続します。



3 赤いクリップをバッテリーのプラス端子に接続します。

運転操作の仕方

- 4** 黒のクリップをバッテリーのマイナス端子に接続します。



⚠ 注意

(+) (-) の極性は間違いなく接続してください。発電機やバッテリーの故障の原因になります。

- 5** エンジンを始動します。
- 6** スタートインジケータの LED ランプが点灯していることを確認します。
- 7** 充電が開始されます。
- 8** 充電が完了(*)したら、エンジンを停止してからバッテリーからバッテリーチャージャーケーブルを黒(-)赤(+)の順で取外し、バッテリーチャージャープラグレセプタクルからプラグを取外します。
※本機で充電完了の確認は出来ません。
バッテリー容量はお客様にて、テスター等を使用し確認してください。

🔊 過負荷警告ランプ

過負荷警告ランプは、接続された電気器具のオーバーロードを感知した時、インバーター制御装置が過熱した時または交流出力電圧が上がった時には、過負荷警告ランプが点灯し、電気が取出せなくなります。この時、エンジンはかかったままなので、接続中の電気器具を OFF にし、エンジンを停止して、下記の手順で再起動してください。

- 接続される電気機器の合計ワット数を適用範囲内に縮小してください。
- 冷却空気入口や制御装置付近に妨害するものがないか確認し、あれば取除いてください。
- 確認後、エンジンを再始動させてください。



点検・整備の仕方

警告

- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・点検整備終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヶ月後又は 20時間運転後	3ヶ月毎又は 50時間運転毎	6ヶ月毎又は 100時間運転毎	1年毎又は 300時間運転毎	掲載ページ
燃料	ガソリン量、漏れ	●					P.13
	LPガス漏れ	●					P.15
エンジンオイル	オイル量	●					P.14
	交換		●	●			P.24
エアクリーナー	清掃			●			P.22
	交換					●	P.22
点火プラグ	清掃				●		P.23
	交換					●	P.30

運転前の点検

発電機をご使用するたびに点検を行ってください。

定期点検・運転

定期的に発電機を運転（約10分位）し、電気器具を接続して運転状態を点検してください。

エアクリーナーの清掃

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどい時はよく洗います。

■使用工具：プラスドライバー、10mm ソケットレンチ

- 1 本体右側面のカバーのプラスネジ4カ所とボルト1カ所(10mm ソケットレンチ必要)を取外し、カバーを取外します。



- 2 エアクリーナーカバーのツマミ2カ所を回し、カバーを取外します。



- 3 エアフィルタを取外します。



点検・整備の仕方

4 エアフィルタの汚れは、中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、すすいだ後、よく乾燥させます。汚れが取れない場合は、交換となります。

5 取外しと反対の手順で取付けます。



注意

エアフィルタ類なしでエンジンを絶対に作動しないでください。

点火プラグの点検・清掃

点火プラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃してください。

■使用工具：10mm ソケットレンチ、ドライバー（付属）、ワイヤブラシ

適応点火プラグ	BPR7ES (NGK)
---------	--------------

1 本体右側面のカバーのプラスネジ 4 ヵ所とボルト 1 ヵ所 (10mm ソケットレンチ必要) を取外し、カバーを取外します。



2 プラグキャップを取外し、付属のプラグレンチで、反時計回りに回し点火プラグを取外します。



3 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



4 取外しと反対の手順で取付けます。

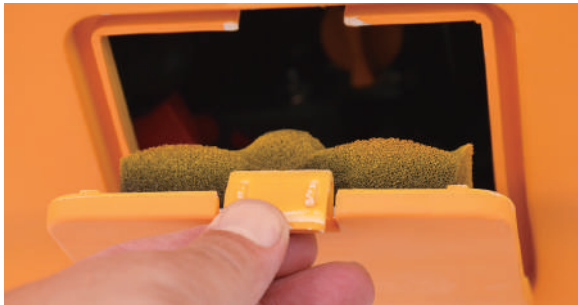
※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりとはめてください。はめ込みがあまりいと点火しません。

点検・整備の仕方

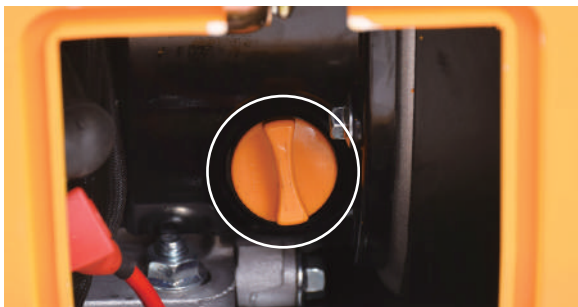
エンジンオイルの交換

エンジンオイルは、初回 20 時間、以降 50 時間毎に行ってください。

- 1** 廃油受けを準備します。
- 2** 本機を水平な場所で水平な状態にし、本体の下に廃油受けを置きます。
- 3** カバーのツマミを押し下げながら手前に引き出し取外します。

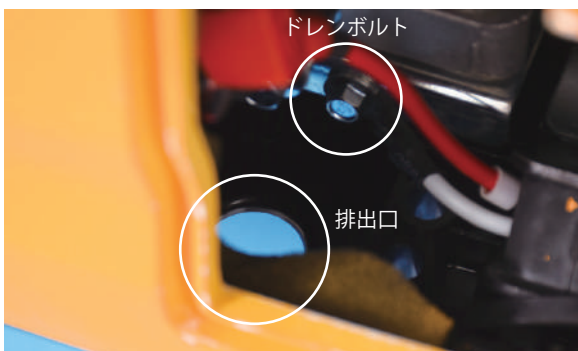


- 4** オイル給油キャップを取外します。



- 5** 本体底の排出口キャップを取外します。

- 6** ドレンボルトを 10mm のスパナで緩めると、底に空いた排出口からオイルが廃油受けに流れ出します。



市販のオイルチェンジャーでオイル給油口から抜くことも出来ますが、若干オイルは残ります。完全に抜く場合は、ドレンボルトより抜いてください。（使用方法はオイルチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。）



- 7** 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。

- 8** 新しいオイルをこぼさないように給油します。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	600ml



- 9** オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まで給油します。



- 10** 給油後は、確実に給油キャップを閉めます。

点検・整備の仕方

燃料の抜き方

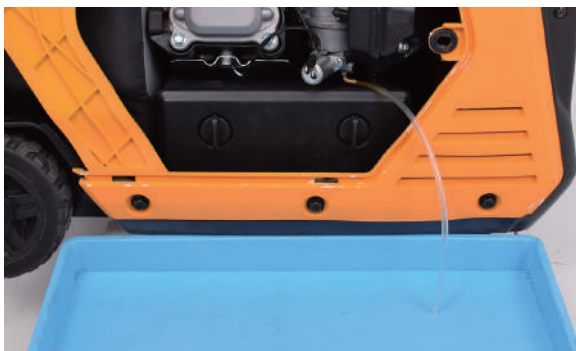
- 1 燃料タンクのキャップを取外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。
- 2 燃料タンクのキャップを取付け、エンジンをかけ、燃料を使い切ります。エンジンのかけ方については、P.17を参照。

■他の方法

- 1 廃油受けを準備します。
- 2 本機を水平な場所で水平な状態にし、本体横に廃油受けを置きます。
- 3 燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。
- 4 本体右側面のカバーの+ネジ4カ所とボルト1カ所(10mmソケットレンチ必要)を外し、カバーを外します。



- 5 キャブレターから出ているホースを取出し、廃油受けに入れます。



- 6 六角ボルトを緩めることで、燃料がホースから出てきます。



- 7 燃料を抜き終わったら、緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。
- 8 ホースを戻し、カバーを取付けます。

重要：ガソリンは揮発性の高い危険物です。下記要項は必ず守ってください。

警告

- 燃料抜き取りの際、周りに火気がないことを十分確認してください。
- 燃料抜き取りは、屋外で行ってください。
- 抜き取った燃料は、適切に処理してください。
- ガソリンは引火性(着火性)の高い危険物です。火の気がなく、温度変化のない、直射日光を避けた安全な場所で保管してください。また、長期間保管をしないでください。
- 燃料漏れ防止のため給油キャップは最後まで確実に締め付けてください。
- 古いガソリンは使用しないでください。ガソリンの長期保管はできません。
- 長期保管したガソリンはエンジンに悪影響を及ぼす恐れがありますので使用しないでください。
- ガソリンが誤って皮膚に付いた場合は、直ちに石鹸等で十分に洗浄し、異常があれば医師の診察を受けてください。

点検・整備の仕方

マフラーワイヤネットの清掃

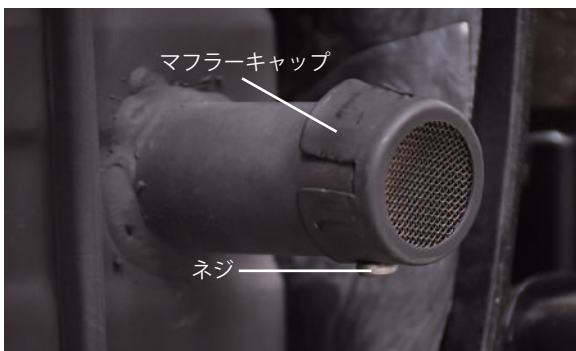
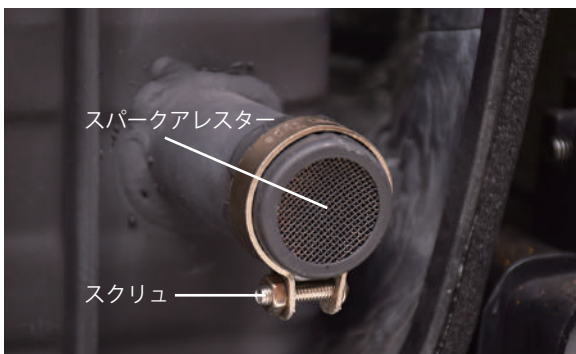


エンジン停止直後は、エンジンやマフラーが熱くなっていますので、やけどに注意してください。
マフラーワイヤネットの清掃は、エンジンやマフラーが冷えてから行ってください。

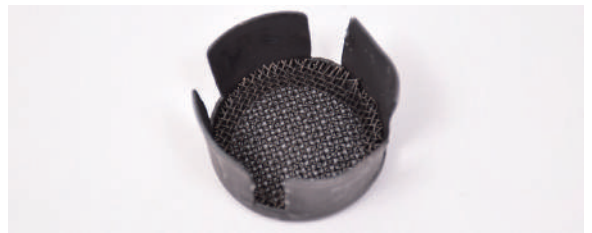
- 1** 本体背面のカバーのプラスネジ6カ所を取外し、カバーを外します。



- 2** スクリューを緩めスパークアレスターを取外します。



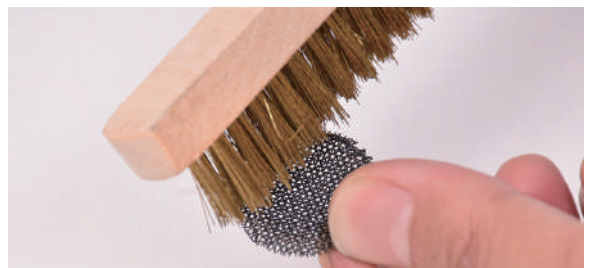
- 3** 下側のネジを取外します。きつい場合はードライバー等で広げて取外します。



- 4** マフラーワイヤネットを取外します。



- 5** ワイヤブラシ等で、スパークアレスターとマフラーワイヤネットの汚れを取除きます。



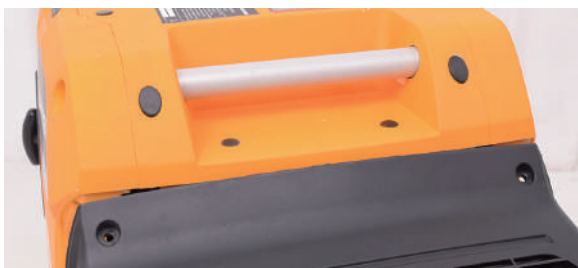
点検・整備の仕方



6 取付けは取外しと逆の手順で行います。



7 カバーは上のツメ部分からはめ込みます。



8 プラスネジ6カ所を取付け、締付けます。



リモコンの電池交換

リモコンの電池が切れた場合は、電池の交換が必要です。乾電池は、以下の乾電池をご用意ください。ネット通販サイトなどからご購入できます。

アルカリ乾電池	12V/27A タイプ
---------	-------------

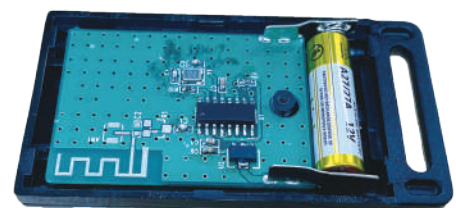
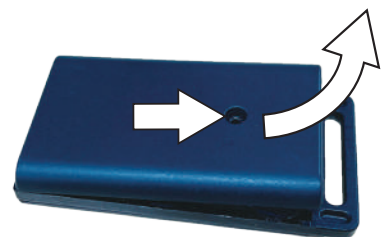
1 リモコンの裏のネジをプラスドライバーで取外します。



2 リモコンを裏にしたまま、隙間にゆっくりとマイナスドライバーを挿込み、隙間を広げます。



3 リモコンの片側の隙間が広がったら、ゆっくりとスライドさせるように蓋をずらすと、蓋が外れます。



4 電池を交換したら、蓋を取外す逆の手順で蓋を取付けます。

長期間使用しない時

発電機を長期に渡り使用しない時は、次のお手入れを行ってください。

- 1** 2週間以上使用しない時は、バッテリーのケーブルを取外しておいてください。
- 2** 燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。(P.25 参照)
- 3** エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。
- 4** 点火プラグキャップを取外します。
- 5** 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

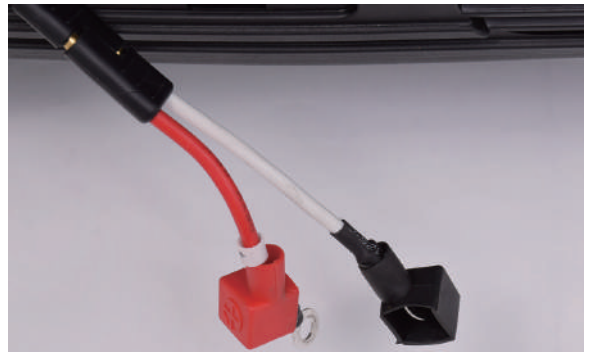
バッテリーについて

使用しない時は、バッテリーの過放電を避けるため、バッテリーケーブルを取外しておいてください。

- 1** 背面のカバーを開けます。



- 2** バッテリーからケーブルを取外します。



👉 月に一回はバッテリーを充電

- 1ヵ月以上使用しない場合は、1ヵ月毎にバッテリーを充電してください。
充電は15分程度をエンジンを回すことで充電されます。
- 万が一バッテリーを過放電させてしまった場合は、市販の密閉型専用バッテリー充電器で充電をしてください。

⚠️ 注意

本機の充電器を利用して充電をしないでください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	点火プラグ不良	交換
	点火プラグキャップ接続不良	点火プラグをしっかりとめる
	イグニッションコイルの不良	メーカー、購入店に問い合わせ
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる
	燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり（ニードル・バルブ固着）	キャブレター分解掃除 メーカー、購入店に問い合わせ
エンジンがかからない	エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く
	エンジンオイルが少ない	給油する
	エンジンオイルにガソリンが混ざっている	オイル交換
	エアクリーナーの汚れ	清掃、交換
オイル警告ランプが点灯	エンジンオイルが入っていない、量が少ない	給油する
セルを回してもかからない	バッテリーの容量不足	充電をする
	バッテリーの過放電	メーカー、購入店に問い合わせ
マフラーから白い煙が出る	指定以外のエンジンオイルを使用	オイル交換 (SAE10W-30)
	本機を転倒させたことによるオイル上がり	メーカー、購入店に問い合わせ
	エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く
電気が取出せない	屋内で使用するなどして本機の温度が上昇	屋外で使用
過負荷警告ランプが点灯	大電流が流れる電気機器を使用している	使用電気機器を確認
電気機器の出力が足りない	周波数が違う	正しい周波数に合わせる
	電気機器が本機に適していない	電気機器メーカーに問い合わせ

故障かな？と思ったら（点火プラグの点検）

点火プラグの点検 ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチをONにします。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

エンジンオイル不足かプラグの不良が考えられます。購入先にお問い合わせください。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

消耗品一覧

商品名	商品コード	
車輪 (左右)	503031n	
バッテリー	511007n	
バッテリーケーブル	503165n	
制御モジュール	503047n	
インバーター	503453n	
エアフィルタアッセンブリ (一式)	332901n	
エアフィルタエレメント	332901-3n	
キャブレター	332810n	
燃料タンクキャップ	503059n	
燃料タンクストレーナ	518801n	
周波数切替キー	121keyn	
バッテリーチャージャー	538002n	
圧力調整器付 LP ガスホース	lppressodjusthosen	

使用することで消耗する部品または、劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【見積り・注文の流れ】

■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄

太枠内をご記入ください。

送信日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

<input type="checkbox"/> 見積り	<input type="checkbox"/> 注文	ご連絡方法	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> TEL
------------------------------	-----------------------------	-------	------------------------------	------------------------------

本製品ご購入お客様情報				
フリガナ		ご購入時登録の電話番号		
氏名 会社名	様	普段繋がりやすい電話番号		
ご住所 お届け先	〒 ー	FAX 番号		

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）				
フリガナ		電話番号		
氏名 会社名	様			
お届け先	〒 ー	FAX 番号		

代金お支払い方法 (お振込み期限7日) いずれかにチェック をお願いします。 手数料は、お客様 でご負担となります。	<input type="checkbox"/> 銀行振込	群馬銀行 館林支店 普通口座 1860509	お振込先口座名義人は、 ハイガー・ハイグサンギョウ (カ となります。
	<input type="checkbox"/> 郵便振替	ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181	
	<input type="checkbox"/> 代金引換	代引手数料 (1万円未満：330円、3万円未満：440円、10万円未満：660円)	

★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金+代引手数料をお支払いください。

商品名	商品コード	数量	単価 (税込) 円	金額 (税込) 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			代引手数料	円
			合計	円

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社又は弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品又は劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃又は先端部品、クラッチ、シャープピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
 - (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
 - (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。
又はお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺いし、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガーまたは販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障品を発送いたします。

ハイガー

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

^{*1} お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。

^{*2} 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。

^{*3} 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく商品発送日より7日以内とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



24時間365日

無休受付

カスタマー・サポート・センター
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガーは、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書は、製品製造時の最新版を同梱していますが、内容は随時改訂していますので、
最新版は以下のサイトよりご確認ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。

HAIGE

〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



24時間365日

無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>

